

# ハトムギ通信 (第1号)

令和2年冬期懇談会資料 54 ページもご参照下さい。

令和2年5月1日  
アルプス農協管内農業技術者協議会

## ハトムギ栽培のポイント～圃場準備から播種～

- ◎早めの排水対策実施で、圃場条件を整えましょう！
- ◎適期・適正な播種作業で、生育量を確保しましょう！



ハトムギは、  
JAアルプスの  
「重点地域振興作物」  
だよ！

### 1 圃場準備

- ・病害虫を抑えるために、連作を避けましょう。
- ・額縁排水溝は早めに設置し、圃場を乾かしましょう。
- ・耕起前に雑草が多い圃場は、除草剤を散布しましょう。

表1 耕起前除草

薬剤名	適用雑草	使用時期	10a当たり使用量		使用方法	総使用回数
			薬量	希釈水量		
ラウンドアップ マックスロード	1年生雑草	耕起前又は 播種前 (雑草生育期)	500ml	100ℓ	雑草茎葉散布	2回

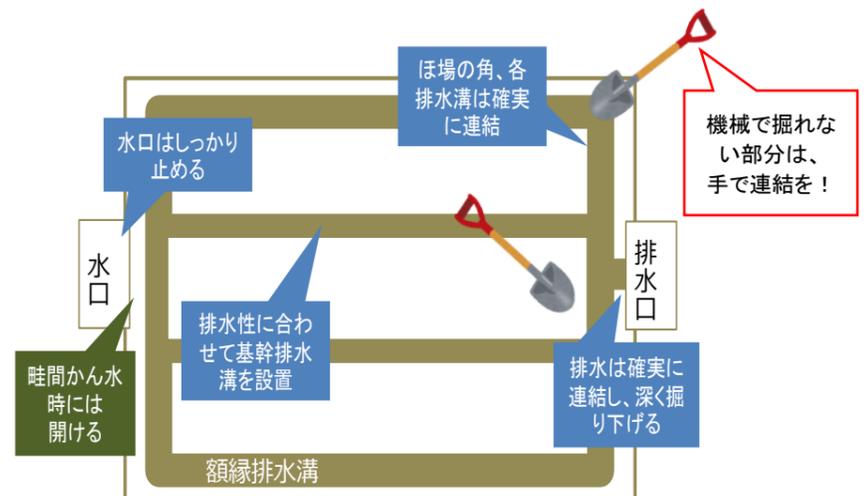


図1 排水対策手順例

### 2 土壌改良資材散布

- ・適正土壌 pH6.0～6.5 を確保するため、粒状貝化石を 150kg/10a 散布しましょう。

### 3 種子消毒

- ・病害発生防止のため、必ず種子消毒を行いましょ。
- ・消毒済み種子は、2日以内に播種してください。

表2 種子消毒

薬剤名	対象病害	希釈倍率	使用方法
ベンレートT水和剤20	葉枯病、黒穂病	200倍	72時間浸漬

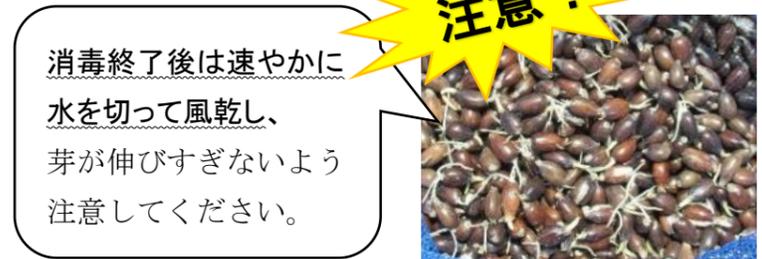


写真1 芽が伸びすぎた種子

### 4 耕起・碎土

- ・耕起～播種、除草剤散布の一連の作業は、必ず好天日の、圃場が乾いた状態で行いましょう。
- ・碎土率を高めるため、耕耘作業は速度を落とし、丁寧に行いましょう。

### 5 播種

- ・適正な播種量、播種深度となるよう、播種前に播種機の調整を行うとともに、作業中も随時確認しましょう。

表3 播種の目安

播種適期	10a当たり播種量	播種深度
5月下旬～6月20日	3kg	3～4cm

生育量確保のため、播種は遅くならないよう、計画的に作業を実施！

### 6 施肥

- ・規定量を確実に施用し、生育量を確保しましょう。

表4 施肥の目安

肥料名	成分比 N-P-K	10a当たり施肥量
LPはとむぎ専用	30-8-8	40～50kg



写真2 大豆播種機による播種

### 7 除草剤散布

- ・播種後ただちに除草剤を散布しましょう。

表5 播種後除草剤

薬剤名	適用雑草	10a当たり使用量		使用方法
		薬量	希釈水量	
サターンバアロ乳剤 +	水田1年生雑草 +	500ml	100ℓ	全面土壌 散布
ゲザプリムフロアブル	1年生雑草 播種直後から出芽前	200ml		



写真3 播種後 18日目の状況

ハトムギは  
初期生育が緩慢なので、  
雑草を確実に抑え、  
生育を促しましょう！

※ハトムギ通信第2号(中耕培土、病害虫防除)は6月5日頃の発行です。